

東京音楽大学リポジトリ

Tokyo College of Music Repository

東京音楽大学附属図書館池野成自筆譜コレクション

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2021-02-17 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	https://tokyo-ondai.repo.nii.ac.jp/records/1377

This work is licensed under a Creative Commons Attribution-NonCommercial-ShareAlike 3.0 International License.



東京音楽大学附属図書館

池野 成

自筆譜コレクション

Sei Ikeno collection:
music manuscripts

Tokyo College of Music Library

池野成 自筆譜コレクション

館長挨拶

東京音楽大学付属図書館館長
坂崎則子

池野成先生は東京音楽学校（現・東京藝術大学音楽学部）で池内友次郎氏、伊福部昭氏に師事、「ゴジラ」をはじめとした数々の映画で伊福部氏のアシスタントを務め、ご自身も映画音楽を200本以上手がけておられます。

このたび池野先生の親友で作曲家の故・今井重幸氏を通じて、映画音楽だけでなく純音楽の自筆譜（自筆譜の複製含む）、また未刊行の管弦楽法原稿が寄贈されました。本学図書館にとりまして、これだけの規模の寄贈を受けたのは初めてのことになります。

映画音楽に関しては、作品の性質上断片的になっているものが多いのですが、完全な形のものも何点あります。吉村公三郎、川島雄三、増村保造、山本薩夫、三隅研次といった1950年代、60年代の日本映画を代表する監督の映画音楽が含まれており、大変貴重な資料ですので、今後の研究にお役立ていただければ幸いです。

（教授：音楽学）

コレクションの概要

池野成先生の映画音楽に関する資料が、作曲家今井重幸先生のご尽力により、池野先生が研究員として勤務されていた東京音楽大学付属民族音楽研究所で保管され、その後、2013年にご遺族を通じて図書館に寄贈されました。映画音楽の楽譜は、水濡れや虫食いによって一部が欠損している譜面も含まれていました。

その後、2014年に今井先生が逝去され、今井先生が所蔵していた池野先生の純音楽資料と管弦楽法に関する原稿が図書館に寄贈されました。

資料は、基本的にデジタル資料を提供します。当館OPACから詳細な検索は出来ません。一部資料は非公開です。

内訳		
手稿譜		726
自筆譜（スコア）	587	
自筆譜（スケッチ）	72	
自筆譜（パート譜）	3	
自筆譜（自作以外）	5	
演奏用パート譜	49	
手書き原稿（作品関連メモ）	9	
進行表	1	
印刷譜		24
自筆譜（スコア）	1	
出版譜	23	
コピー		136
自筆譜のコピー	42	
自筆譜のコピー（自作品以外）	5	
出版譜のコピー	18	
演奏用パート譜のコピー	65	
手書き原稿のコピー	5	
書籍のコピー	1	
原稿・紙		60
手書き原稿（管弦楽法）	52	
白紙五線紙	7	
五線紙以外の白紙	1	
池内友次郎氏の色紙	1	
計		947

2017年3月末現在

池野成先生について

1931年2月24日に札幌で生まれ、その後すぐに東京に移る。池野先生の父は司法官で、祖父はソテツとイチヨウの精子を発見したことで有名な植物学者の池野成一郎。

旧制青山中学校で、作曲家で後に伊福部昭門下生になる今井重幸氏と出会う。

1950年4月東京音楽学校作曲科（1953年に東京藝術大学音楽学部となる）に入学し、池内友次郎氏、伊福部昭氏に師事。1953年に伊福部昭氏が退任したのに伴い東京藝術大学を中退。在学中の1952年に『序奏と交響的アレグロ』が第21回音楽コンクール（現・日本音楽コンクール）管弦楽部門の第2位に入選し、山田和男（一雄）指揮、NHK交響楽団により初演される。

1956年、吉村公三郎監督の『嫁ぐ日』の音楽を担当したのを皮切りに、福田純監督の『電送人間』（1960年）、川島雄三監督の『雁の寺』（1962年）、山本薩夫監督の『白い巨塔』（1966年）、黒田義之監督の『妖怪大戦争』（1968年）など、数多くの映画音楽を手がける。

また、東京音楽大学、東京藝術大学において、作曲及び管弦楽法の講師を務め後進の育成に力を注いだ。東京音楽大学では、東京音楽大学付属民族音楽研究所において所長の伊福部先生の下で研究員として勤務した。

1997年に東京音楽大学を退職し、その後スペインに移住。1997年に遺作となる『Divertimento』をスペインで作曲。

2004年に帰国。8月13日、東京にて逝去。



2004年 自宅にて
撮影：出口寛泰

利用案内

池野成自筆譜コレクションは、東京音楽大学付属図書館利用規程に則って運用していません。

原則として、デジタル化した資料の館内閲覧のみを利用に提供します。

研究・演奏のために自筆譜を閲覧・複写する場合には、所定の手続きが必要です。資料によっては、複写出来ないものもあります。また、利用にかかる諸費用や手続きに必要な費用等は、利用者ご自身で負担していただくことになります。詳しくは図書館にお問い合わせください。

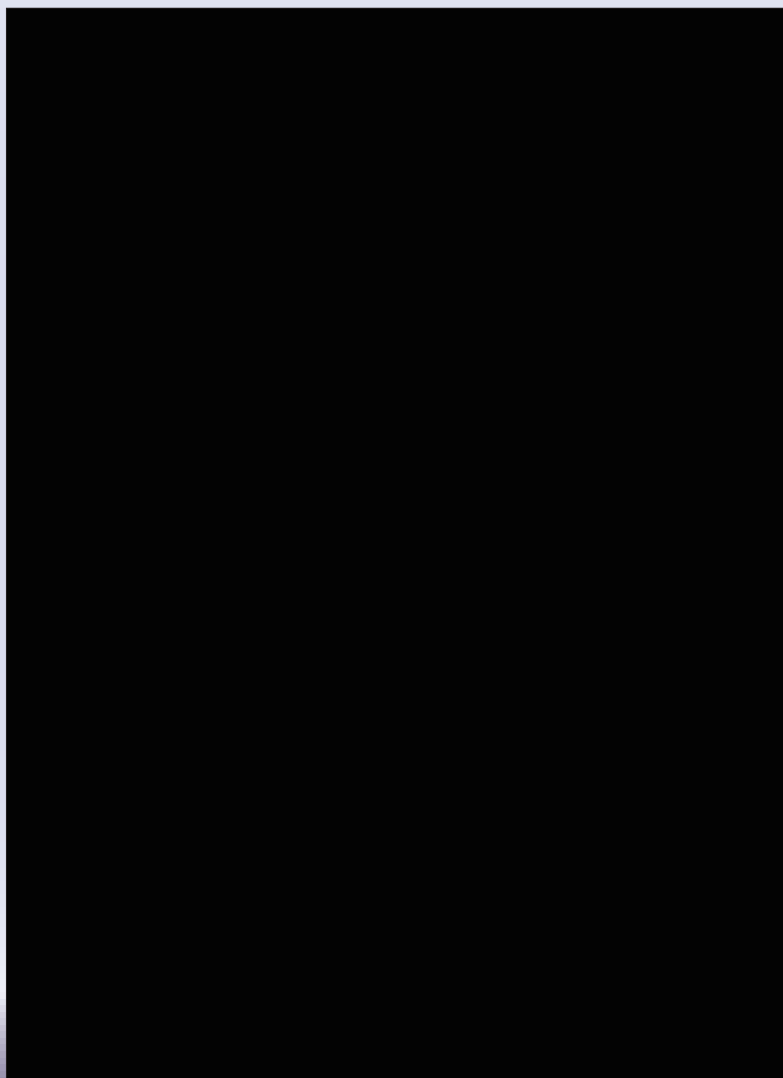
学外・一般の方の利用は、事前に申し込みが必要です。詳しくは東京音楽大学付属図書館のサイトをご覧ください。図書館までお問い合わせください。

池野 成 自筆譜コレクション

コレクション資料の紹介

Rapsodia concertante [ラプソディア コンチェルタンテ]

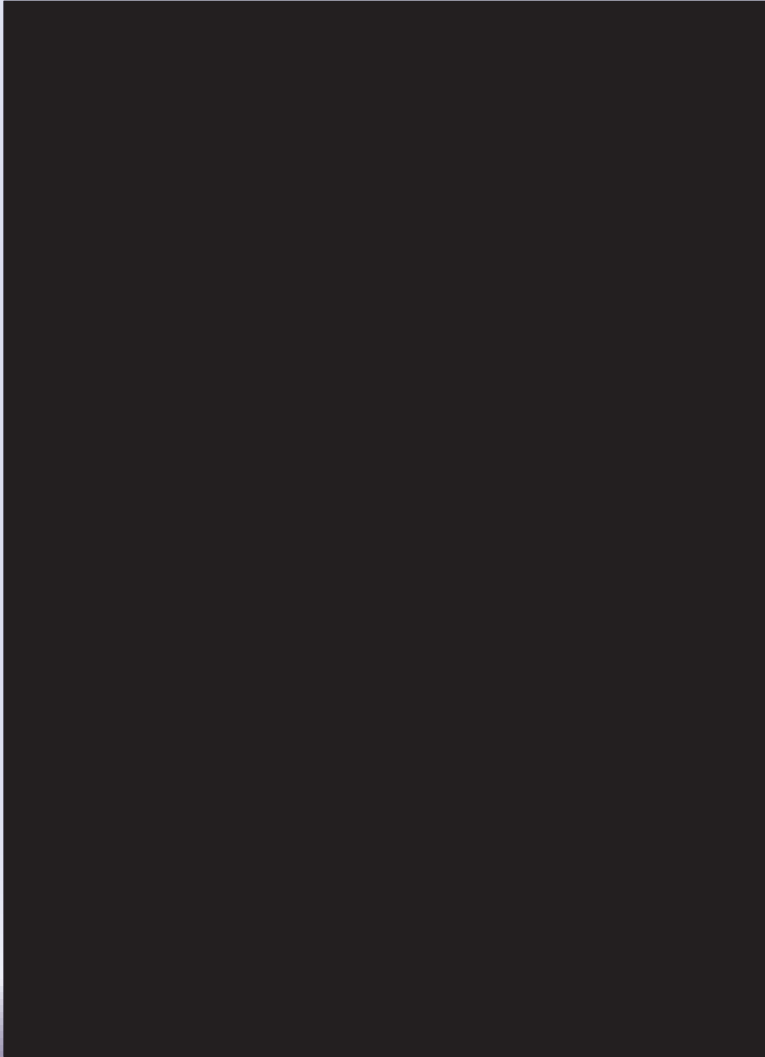
1983年10月23日、NHK-FM『現代の音楽』で、磯恒男のヴァイオリン独奏、山岡重信指揮、東京フィルハーモニー交響楽団によって放送初演された。



舞台初演は、2014年5月11日、紀尾井ホールで行われた「芥川也寸志メモリアルオーケストラ・ニッポニカ第25回演奏会」。ヴァイオリン独奏は高木和弘、指揮は阿部加奈子。

スケッチやパート譜を含めて関連する資料が残されている。

曲は大きく2つの部分と間の短い経過部からなる。掲載されている楽譜は、第1部の終結部分と短い経過部、及び第2部の冒頭部分。



大きさ：54cm 五線紙：40段、刻印なし 鉛筆書き

池野成 自筆譜コレクション

妖怪大戦争

大映京都撮影所が制作し、1968年12月14日に封切りされた時代劇・特撮映画。監督は黒田義之、脚本は吉田鉄郎。同年春に公開された『妖怪百物語』が好評だったために第2弾として作られ、翌年製作された『東海道お化け道中』と併せて「大映の妖怪三部作」、または「妖怪シリーズ」と呼ばれる。

1997年に妖怪3部作がLDで発売されるなど、早くからメディア化され市販されている作品。

掲載楽譜は第1・15・17曲目の冒頭部分。

カラー作品・79分 併映作品は『蛇娘と白髪魔』

監督：黒田義之 脚本：吉田鉄郎

出演：青山良彦 他

制作：大映京都撮影所

潤滑油

1960年に完成した25分のカラー作品。演出は竹内信次。

1961年に科学技術映画祭優秀作品賞を受賞するなど、数々の賞を受賞している。

音楽は全部で10曲。掲載楽譜は第1・9曲目。この曲は第2曲目の後半にも使われている。

カラー作品・25分

演出：竹内信次

製作：東京シネマ 企画：丸善石油

科学映像館のサイトで動画が配信されている。

<http://www.kagakueizo.org/movie/industrial/64/>

大きさ：44cm 五線紙：30段、刻印なし ペン書き

この第1・9曲目だけは他の曲と違う五線紙で書かれている。

他の曲の五線紙は、大きさ：39cm 五線紙：30段、TOKYO-SHA, No. 10-30 Staves

弦楽器はチェロとコントラバスのみでヴァイオリンとヴィオラは使用されていない。

池野 成 自筆譜コレクション

管弦楽法 of 原稿

池野成が書き留めていた『管弦楽法』の原稿。池野の死後、今井重幸が管理していた。全体の目次は無く、見出しごとにクリップで留めてあるものと、下書きのようなノートなどがある。

掲載した原稿は「管弦楽法」という見出しの下、管弦楽法とはどういうことか？ という内容がラヴェルやストラヴィンスキーのことは引用しつつ書かれている。

これらの原稿は、整理が終わった後に公開予定。



大きさ：26cm 原稿用紙：コクヨ ケ-35 20 × 20 の原稿用紙（表紙なし） 鉛筆書き

池野成作品表

純音楽作品

Introduction et allegro symphonique 序奏と交響的アレグロ	1952年
編成：三管編成 orch 初演：第21回音楽コンクール（現・日本音楽コンクール）1952年10月25日（於：日比谷公会堂）山田和男（一雄）指揮 NHK交響楽団 管弦楽曲部門第2位入選	
夜の果樹園	1953年
編成：二管編成 orch 初演：第六回奥田敏子舞蹈公演 1953年6月6日（於：名古屋市公会堂）奥田敏子舞蹈団 池野成 指揮 名古屋放送管弦楽団	
作品七番	1953年
編成：二管編成 orch 初演：江口隆哉・宮操子舞蹈公演 1953年11月5日（於：日比谷公会堂）上田仁 指揮 東京交響楽団	
Danses concertantes [ダンス コンセルタンテ]	1953年
編成：三管編成 orch 初演：第58回東京交響楽団定期演奏会 1953年12月10日（於：日比谷公会堂）上田仁 指揮 東京交響楽団	
ボロと宝石	1954年
編成：管楽器群, 低音弦楽群, 打楽器 初演：第五回近藤玲子バレエ公演 1954年5月1日（於：旧帝国劇場）近藤玲子バレエ団	
カリジア海	1955年
編成：5 perc, 2 pf 初演：石井晶子舞蹈団	
増殖儀礼 [Totem Intituma]	1959年
編成：trb & perc ensemble 初演：現代舞台芸術協會第一回公演 1959年6月28日（於：日本青年館ホール）池野成 台本 今井重幸 演出 三条万里子、西田堯 他 岩城宏之 指揮 SASC管弦楽団	
Evocation [エヴォケーション]	1974年
編成：solo mari, 6 trb, 6 perc 初演：現代の音楽展'77 1977年2月7日（於：第一生命ホール）岡田真理子 マリンバ独奏 有賀誠門 指揮 東京音楽大学トロンボーン科・打楽器科	
Timpanata [ティンパナータ]	1977年
編成：solo timp, 1 fl, 3 hr, 3 trb, 1 tuba, 6 perc 初演：東京藝術大学創立90周年記念演奏会 1977年10月30日（於：東京藝術大学第6ホール）有賀誠門 ティンパニー独奏 他	
Rapsodia concertante [ラプソディア コンチェルトアンテ]	1983年
編成：solo vn, 三管編成 orch 初演：NHK「現代の音楽」において放送初演 1983年10月23日 磯恒男 ヴァイオリン独奏 山岡重信 指揮 東京フィルハーモニー交響楽団	
古代の断章 Fragment antique	1984年
編成：12 trb, 6 perc 初演：東京芸術大学トロンボーン・アンサンブル第5回定期演奏会 1984年1月21日（於：練馬文化センター・小ホール）本名徹次 指揮 東京芸術大学トロンボーン科・打楽器科	
Octet [八重奏曲]	1984年
編成：6 euph, 2 tuba 初演：東京音楽大学チューバ・ユーフォニアムアンサンブル第6回定期演奏会 1984年5月2日（於：練馬文化センター・小ホール）野口芳久 指揮 東京音楽大学チューバ・ユーフォニアムアンサンブル	
Prelude [プレリュード]	1987年
編成：brass band 初演：東京プラスコンコード第7回定期演奏会 1989年2月26日（於：石橋メモリアルホール）井上謹次 指揮 東京プラスコンコード	
Omaggio a Maestro A. IFUKUBE	1988年
編成：室内 orch 初演：伊福部昭先生の叙勲を祝う会祝賀コンサート 1988年2月27日（於：サントリーホール小ホール）石井真木 指揮 新星日響室内オーケストラ	
Tamburata [8 percussionists] [タンブラータ 8人の打楽器奏者のための]	1989年
編成：8 perc 初演：第13回埼玉県アンサンブルコンテスト 1989年11月17日（於：上尾福祉会館中ホール）埼玉県立伊奈学園総合高等学校	
Tamburata [20 percussionists] [タンブラータ 20人の打楽器奏者のための]	1996年
編成：20 perc 初演：96'PERCUSSION FESTIVAL 1996年6月2日（於：麻生文化センター）百瀬和紀 指揮 フェスティバル・アンサンブル	
Divertimento [ディヴェルティメント]	1997年
編成：8 perc 初演：第6回東関東アンサンブルコンテスト 2001年1月21日（於：ひたちなか市文化会館大ホール）栃木県立宇都宮北高等学校	

[]で補記したタイトルは自筆譜以外の情報源による。所蔵楽譜の詳細についてはお問い合わせください。

池野成 自筆譜コレクション

主要映画音楽

タイトル	監督	公開日	企画・制作・配給など
嫁ぐ日	吉村公三郎	1956.02.05	近代映画協会
夜の河	吉村公三郎	1956.09.12	大映東京
四十八歳の抵抗	吉村公三郎	1956.11.14	大映東京
眠狂四郎無頼控	日高繁明	1956.12.26	東宝
野口英世の少年時代	関川秀雄	1956	東映（教育映画部）
運動くつ	道林一郎	1956	東映（教育映画部）
オルガン物語	堀内甲	1956	東映（教育映画部）
屋上の少年たち	藤原杉雄	1956	東映（教育映画部）
がんばれヨッセン	野村企鵝	1956	劇団民芸，教育映画配給社
生きている絵	堀内甲	1956	東映（教育映画部）
危険な関係	井上梅次	1957.02.27	日活
眠狂四郎無頼控 第二話 円月殺法	日高繁明	1957.04.02	東宝
裸の町	久松静児	1957.07.11	東京映画
夜の蝶	吉村公三郎	1957.07.28	大映東京
銀座のしいのみ	堀内甲	1957	東映（教育映画部）
手錠	阿部毅	1958.02.12	大映東京
昭和刑事物語 俺にまかせろ	日高繁明	1958.06.08	東宝
俺たちは狂っていない	阿部毅	1958.07.11	大映東京
一粒の麦	吉村公三郎	1958.09.14	大映東京
黒い炎	西村元男	1958.09.14	大映＝北海道炭鉱汽船
ドジを踏むな	日高繁明	1958.09.16	東宝
夜の素顔	吉村公三郎	1958.10.15	大映東京
燈台	鈴木英夫	1958.11.23	東宝
親不孝通り	増村保造	1958.12.14	大映東京
お母さんの幸福	木村荘十二	1958	結核予防会
手錠をかける	日高繁明	1959.02.17	東宝
特ダネ三十時間 第三の女	村山新治	1959.03.03	東映東京
特ダネ三十時間 深夜の挑戦	村山新治	1959.03.10	東映東京
結婚の夜	寛正典	1959.03.10	東宝
僕らの母さん	板谷紀之	1959.03.29	東京映画
社員無頼 怒号篇	鈴木英夫	1959.05.12	東宝
新しい製鉄所	伊勢長之助	1959.06.02	川崎製鐵
社員無頼 反撃篇	鈴木英夫	1959.06.02	東宝
女子大学生 私は勝負する	板谷紀之	1959.07.28	東宝
悪魔の接吻	丸山誠治	1959.10.25	東宝
海壁	黒木和雄	1959	東京電力
海に築く製鉄所	伊勢長之助	1959	八幡製鐵
ガン細胞 一ガン・シリーズ no. 1ー	渡辺正巳	1959	中外製薬
結核菌と化学薬劑 一ミクロの世界第2部一	渡辺正巳	1959	中外製薬
非情都市	鈴木英夫	1960.02.21	東宝
黒い面集 あるサラリーマンの証言	堀川弘通	1960.03.13	東宝
秘密	家城巳代治	1960.04.05	東映東京
電送人間	福田純	1960.04.10	東宝
襲われた手術室	阿部毅	1960.05.11	大映東京
すれすれ	瑞穂春海	1960.05.18	大映東京
青い野獣	堀川弘通	1960.06.26	東宝
熱い砂	瑞穂春海	1960.07.24	大映東京
大空の野郎ども	古沢憲吾	1960.08.21	東宝
銀座のどら猫	井上芳夫	1960.09.01	大映東京
弾丸大将	家城巳代治	1960.09.13	東映東京
鎮花祭	瑞穂春海	1960.11.01	大映東京
犯行現場	阿部毅	1960.11.09	大映東京
金づくり太閤記	川崎徹広	1960.12.11	東宝
高炉セメント	伊勢長之助	1960	八幡化学工業

※「海壁」は小杉太一郎、原田甫、松村禎三、三木稔との共作

東京音楽大学付属図書館

タイトル	監督	公開日	企画・制作・配給など
潤滑油	竹内信次	1960	丸善石油
婚期	吉村公三郎	1961.01.14	大映東京
手錠にかけた恋	原田治夫	1961.02.01	大映東京
南の風と波	橋本忍	1961.02.14	東宝
お嬢さん	弓削太郎	1961.02.15	大映東京
この青年にご用心	井上芳夫	1961.03.21	大映東京
顔役暁に死す	岡本喜八	1961.04.16	東宝
新人生劇場	弓削太郎	1961.05.31	大映東京
女の勲章	吉村公三郎	1961.06.28	大映東京
雲がちぎれる時	五所平之助	1961.07.09	松竹京都
女は二度生まれる	川島雄三	1961.07.28	大映東京
幼馴染というだけさ	弓削太郎	1961.09.10	大映東京
男の銘柄	弓削太郎	1961.11.12	大映東京
花影	川島雄三	1961.12.09	東京映画
エレクトロニクス 一電子は見る・聞く・考える一	竹内信次	1961	科学技術振興財団
日立ディーゼル機関車	吉田功	1961	日立製作所
躍進する日立鉄道車両	板谷紀之	1961	日立製作所
家庭の事情	吉村公三郎	1962.01.03	大映東京
雁の寺	川島雄三	1962.01.21	大映京都
その場所に女ありて	鈴木英夫	1962.01.28	東宝
旅愁の都	鈴木英夫	1962.03.07	宝塚映画
爛	増村保造	1962.03.14	大映東京
娘と私	堀川弘通	1962.04.01	東京映画
青べか物語	川島雄三	1962.06.28	東京映画
夜の傾斜	内川清一郎	1962.06.28	宝塚映画
黒の試走車	増村保造	1962.07.01	大映東京
真昼の嵐	富本壮吉	1962.08.19	大映東京
箱根山	川島雄三	1962.09.15	東宝
女の一生	増村保造	1962.11.18	大映東京
しとやかな獣	川島雄三	1962.12.26	大映東京
黒の報告書	増村保造	1963.01.13	大映東京
みんなわが子	家城巳代治	1963.02.01	全農映 = ATG
背広の忍者	弓削太郎	1963.02.19	大映東京
赤い水	山本薩夫	1963.05.03	大映東京
黒の死球	瑞穂春海	1963.06.08	大映東京
イチカバチカ	川島雄三	1963.06.16	東宝
ぐれん隊純情派	増村保造	1963.07.27	大映東京
黒の高標	弓削太郎	1963.09.07	大映東京
越前竹人形	吉村公三郎	1963.10.05	大映京都
黒の駐車場	弓削太郎	1963.11.30	大映東京
ある町の銀行	板谷紀之	1963	東京シネマ
挑戦	渋谷昶子	1963	大日本紡績
黒の爆走	富本壮吉	1964.02.01	大映東京
剣	三隅研次	1964.03.14	大映京都
傷だらけの山河	山本薩夫	1964.04.04	大映東京
越後つついし親不知	今井正	1964.05.09	東映東京
十七才の狼	井上芳夫	1964.06.05	大映東京
座頭市あばれ唄	池広一夫	1964.07.11	大映京都
無宿者	三隅研次	1964.08.08	大映京都
続・高校三年生	弓削太郎	1964.08.22	大映東京
制服の狼	弓削太郎	1964.10.31	大映東京
肉体の盛装	村山新治	1964.11.21	東映東京
十七才は一度だけ	井上芳夫	1964.12.19	大映東京
忍びの者 続・霧隠才蔵	池広一夫	1964.12.30	大映京都
明日への虹	今泉善珠	1964	日興證券
あるマラソンランナーの記録	黒木和雄	1964	富士写真フィルム
われらフィフティーン	山添哲	1964	新日本プロダクション

池野成 自筆譜コレクション

タイトル	監督	公開日	企画・制作・配給など
花実のない森	富本壮吉	1965.01.23	大映東京
肉体の学校	木下亮	1965.02.14	東宝
陽のあたる椅子	川崎徹広	1965.03.13	東宝
にっぽん泥棒物語	山本薩夫	1965.05.01	東映東京
証人の椅子	山本薩夫	1965.05.15	山本アロ
雲を呼ぶ講道館	弓削太郎	1965.05.27	大映東京
青いくちづけ	井上芳夫	1965.07.03	大映京都
掏摸(すり)	弓削太郎	1965.10.16	大映東京
恐山の女	五所平之助	1965.10.30	松竹
牝犬脱走	弓削太郎	1965.11.13	大映東京
こころの山脈	吉村公三郎	1966.02.02	近代映画協会
ザ・ガードマン 東京忍者部隊	弓削太郎	1966.02.12	大映東京
氷点	山本薩夫	1966.03.26	大映東京
若い娘がいっぱい	筑正典	1966.04.03	東宝
雁	池広一夫	1966.05.21	大映東京
貴様と俺	弓削太郎	1966.07.13	大映東京
女のみづうみ	吉田喜重	1966.08.27	現代映画
脂のしたたり	田中徳三	1966.09.03	大映東京
赤い天使	増村保造	1966.10.01	大映東京
白い巨塔	山本薩夫	1966.10.15	大映東京
女の賭場	田中重雄	1966.11.26	大映東京
陸軍中野学校 竜三号指令	田中徳三	1967.01.03	大映京都
雪の喪章	三隅研次	1967.01.14	大映東京
夜の農	富本壮吉	1967.01.28	大映東京
情炎	吉田喜重	1967.05.13	現代映画
墮落する女	吉村公三郎	1967.06.28	近代映画協会
女賭博師	弓削太郎	1967.07.15	大映東京
座頭市半破り	山本薩夫	1967.08.12	大映京都
続大奥(秘)物語	中島貞夫	1967.11.01	東映京都
眠れる美女	吉村公三郎	1968.01.31	近代映画協会
樹氷のよるめき	吉田喜重	1968.01.31	現代映画
あるセックス・ドクターの記録	弓削太郎	1968.02.10	大映東京
陸軍中野学校 開戦前夜	井上昭	1968.03.09	大映京都
喜劇 泥棒学校	弓削太郎	1968.04.06	大映東京
牡丹燈籠	山本薩夫	1968.06.15	大映京都
愛の三分間指圧	弓削太郎	1968.06.29	大映東京
ある女子高校医の記録 妊娠	弓削太郎	1968.07.27	大映東京
高校生芸者	弓削太郎	1968.09.21	大映東京
九尾の狐と飛丸	八木晋一	1968.10.19	日本動画
続セックスドクターの記録	弓削太郎	1968.11.30	大映東京
にっぽん親不孝時代	山本邦彦	1968.12.07	東京映画
妖怪大戦争	黒田義之	1968.12.14	大映京都
座頭市喧嘩太鼓	三隅研次	1968.12.28	大映京都
アラビアの炎	森田実	1968	アラビア石油
東京一千万	西江孝之	1968	東京都
広がる銀輪の波	田部純正	1968	自動車産業振興会
ある女子高校医の記録 失神	弓削太郎	1969.01.11	大映東京
出獄四十八時間	森一生	1969.02.08	大映京都
昭とおんな仁義	弓削太郎	1969.03.08	大映東京
ザ・テンプアーズ 涙のあとに微笑みを	内川清一郎	1969.03.29	東京映画
与太郎戦記	弓削太郎	1969.07.12	大映東京
いそぎんちゃく	弓削太郎	1969.08.30	大映東京
荒い海	山崎徳治郎	1969.10.15	真珠舎
天狗党	山本薩夫	1969.11.15	大映京都
炎症を探る	依田卓	1969	第一製薬
大和の道	山添哲	1969	近畿日本ツーリスト
早明浦ダム建設記録	赤佐政治	1969	間組

タイトル	監督	公開日	企画・制作・配給など
鹿島製鉄所の建設	安藤令三	1969	住友金属工業
コルトギャラン	秋元勝利	1969	三菱重工業
与太郎戦記 女は幾万ありとても	弓削太郎	1970.04.18	大映東京
喜劇 おひかえなすって	弓削太郎	1970.05.16	大映東京
夜のいそぎんちゃく	弓削太郎	1970.07.01	大映東京
その人は女教師	出目昌伸	1970.08.29	東京映画
脳への探索	吉見泰	1970	中外製薬
すべてのいのちのために	森田実	1970	武田薬品工業
臨界 美浜原子力発電所の建設記録	山添哲	1970	関西電力
ニューシャープ	森田実	1970	シャープ
すっぱん女番長	弓削太郎	1971.01.27	大映東京
誰のために愛するか	出目昌伸	1971.04.01	東宝
君は海を見たか	井上芳夫	1971.05.05	大映東京
甘い秘密	吉村公三郎	1971.08.25	近代映画協会
黒の斜面	貞永方久	1971.08.25	松竹＝俳優座映画放送
陸軍落語兵	弓削太郎	1971.10.30	大映東京
嫉妬	貞永方久	1971.11.13	松竹大船
現代日本の女性 Woman of modern Japan	泉水剛	1971	外務省
入之波に生きる	岡謙造	1971	近畿農政局
未来をひらくスタンレー	泉水剛	1971	スタンレー電気
影の爪	貞永方久	1972.09.09	松竹大船
蜜のしたたり	加藤彰	1973.09.22	日活
日本の河	高井達人	1973	外務省
岩宿の発見 一日本の石器時代一	外山凡平	1973	教育映画
腸内菌叢と宿主	武田純一郎	1973	ミヤリサン
沖縄の心	山添哲	1973	近畿日本ツーリスト
流れの譜 第一部動乱／第二部夜明け	貞永方久	1974.06.22	松竹大船
がんと闘う人々	武田純一郎	1974	協和発酵工業
バズーカ先生と子どもたち	菊池靖	1975	貯蓄増強中央委員会
超高層ホテル殺人事件	貞永方久	1976.04.03	松竹大船
たまごからヒトへ	武田純一郎	1976	シネ・サイエンス
からだのなかの小さな生命たち	武田純一郎	1977	ヤマト
一粒の小麦から	大沼鉄郎	1977	日清製粉
龍神の説法	岡野貞明	1977	別格本山真言律宗連華院誕生寺
あなのふしぎ	武田純一郎	1978	シネ・サイエンス
こんにちは ピフィス	武田純一郎	1978	ヤマト
カエル 遺伝発生学の開拓	武田純一郎	1980	シネ・サイエンス
心臓 そのリズム発生	武田純一郎	1980	救心製薬
CULTIVATION electronic Component today	上野術資	1980	松下電子部品
ビール 5000年の旅	武田純一郎	1981	キリンビール
人間	武田純一郎	1982	スズケン
化粧	池田一夫	1984.05.12	松竹

その他の作品

タイトル	放送日など	メモ
36号室	1959.10.16	脚本：寺田信義 演出：合川明 テレビ劇場 (NHK 総合)
聖のんだくれ物語	1964.02.01	明治座で公演された「森繁劇団二月特別公演」のための音楽
消えた私	1977.07.30	脚本：國弘威雄 監督：貞永方久 土曜ワイド劇場 (テレビ朝日)
最後の賭け／老刑事と金庫破り	1977.10.08	脚本：小川英 監督：手銭弘喜 土曜ワイド劇場 (テレビ朝日)
Introduction et mambo	1950年代	映画館で流された宣伝映像のための音楽
宝島	不明	不明
Olympic hour	不明	NHKで放送されたオリンピックの音楽
出光新瀉沖油田	不明	連星映画
Fragment pour Grande Orgue	不明	昭和30年代の大映テレビのテレビ映画用の音楽

所蔵楽譜の詳細についてはお問い合わせください。

池野成 自筆譜コレクション

池野成先生年譜

年月日	出来事
1931年 2月 24日	北海道札幌市で生まれ、その後すぐに東京に移る
1950年 4月	東京音楽学校（現・東京藝術大学音楽学部）作曲科に入学し池内友次郎氏、伊福部昭氏に師事する（その後1953年に伊福部昭氏が退任したのに伴い中退する）
1952年 10月 25日	『Introduction et allegro symphonique = 序奏と交響的アレグロ』が第21回音楽コンクール（現・日本音楽コンクール）管弦楽部門第2位に入選し、山田和男（一雄）指揮、NHK交響楽団により初演される
1953年 11月 5日	『作品七番』が江口隆哉・宮操子舞踊公演にて上田仁指揮、東京交響楽団により初演される
12月 10日	『Danses concertantes』が東京交響楽団第58回定期演奏会にて上田仁指揮、東京交響楽団により初演される
1956年	初めて映画音楽『嫁ぐ日』（吉村公三郎監督）を手がける
1962年	『雁の寺』（川島雄三監督）、『黒の試走車』（増村保造監督）の映画音楽を手がける
1966年	『氷点』、『白い巨塔』（いずれも山本薩夫監督）の映画音楽を手がける
1968年	『妖怪大戦争』（黒田義之監督）、『座頭市喧嘩太鼓』（三隅研次監督）の映画音楽を手がける
1974年 4月 1日	東京音楽大学作曲科非常勤講師に就任し、東京音楽大学付属民族音楽研究所では研究員として勤務する
1977年 2月 7日	『Evocation』が岡田真理子マリimba独奏、有賀誠門指揮、東京音楽大学打楽器科・トロンボーン科により初演される
10月 30日	『Timpanata』が東京藝術大学創立90周年記念演奏会において有賀誠門ティンパニー独奏、その他の演奏者により初演される
1983年 10月 23日	『Rapsodia concertante』がNHK「現代の音楽」において磯恒男ヴァイオリン独奏、山岡重信指揮、東京フィルハーモニー交響楽団により放送初演される
1984年	最後の映画音楽となる池広一夫監督の『化粧』を手がける
1988年 2月 27日	『Omaggio a Maestro A. IFUKUBE』が伊福部昭先生の叙勲を祝う会祝賀コンサートにて石井眞木指揮、新星日響室内オーケストラにより初演される
1997年 3月 31日	東京音楽大学作曲科非常勤講師を退職する
	退職後スペインに移住する
1997年	スペインで遺作となる『Divertimento』を作曲する
2004年 8月 13日	東京にて逝去

参考文献

当パンフレット作成に際して使用した主な参考文献です。

書籍

『東宝三十年史』東宝株式会社, 1963年

倉知八洲土編集『奥田敏子・モダンダンス思考』奥田敏子舞踊研究所, 1991年

藤井知昭監修『焼け跡のカーテンコール 戦後名古屋の洋舞家たち 大切なことを忘れないうちに』伊豫田静弘著, 松本吉正編 世界劇場会議名古屋, 2007年

雑誌・論文

池野成『私の作曲した舞踊曲 ―アンケートの(1)五十音順―』『現代舞踊』第4巻3号(1956年3月), 10頁

『昭和52年10月28日～30日, 11月1日 創立90周年記念演奏会』東京芸術大学百年史編集委員会編『東京芸術大学百年史』演奏会篇 第3巻(音楽之友社, 1993年)所収, 第4章『特別演奏会その他 昭和27年～昭和63年2月』, 325-329頁

桑原和美『江口隆哉・宮操子』片岡康子監修・著『日本の現代舞踊のパイオニア 創造の自由がもたらした革新性を照射する』(新国立劇場運営財団情報センター, 2015年)所収, 第5章, 74-75頁

プログラム

『第五回近藤玲子バレエ公演』帝國劇場 1954年5月1日

『現代の音楽展'77』[第1夜]第一生命ホール 1977年2月7日

『故・奥田敏子先生追悼式』愛知県勤労会館ホール 1979年9月28日

『東京音楽大学チューバ・ユーフォニアムアンサンブル第6回定期演奏会』練馬区文化センター小ホール 1984年5月2日

『伊福部昭先生の叙勲(勲二等瑞宝章)を祝う会』サントリーホール小ホール 1988年2月27日

『第13回埼玉県アンサンブルコンテスト』上尾福祉会館中ホール 1989年11月17日

『第6回東関東アンサンブルコンテスト』ひたちなか市文化会館大ホール 2001年1月21日

『池野成メモリアル・コンサート』第一生命ホール(トリトンスクエア) 2006年11月23日

『芥川也寸志メモリアル オーケストラ・ニッポニカ第25回演奏会』紀尾井ホール 2014年5月11日

CD

『池野成の映画音楽』Salida DESL-001 - DESL004, 2004年

『池野成の音楽』Sowbun record SOWR-1001 - 1002, 2007年

『池野成の映画音楽 牡丹燈籠 妖怪大戦争』Salida DESL-007, 2014年

池野成『ラプソディア・コンチェルト』高木和弘(ヴァイオリン), オーケストラ・ニッポニカ, 阿部加奈子指揮 Exton OVCL-00583, 2016年

Web サイト

『池野成研究活動』Salida (サリダ) (2017年2月28日アクセス) <http://salida1.web.fc2.com/ikenoseityousakatudou.html>

『池野成』[今井重幸] 日本版ウィキペディア (2017年2月28日アクセス) <https://ja.wikipedia.org/wiki/池野成>

東京国立近代美術館フィルムセンター所蔵映画フィルム検索システム (2017年3月7日アクセス) <http://nifcd.momat.go.jp/>

日本映画情報システム (2017年3月7日アクセス) <https://www.japanese-cinema-db.jp/>

日本映画データベース (2017年2月28日アクセス) <http://www.jmdb.ne.jp/>

科学映像館 (2017年2月28日アクセス) <http://www.kagakueizo.org/>

『作曲家フィルモグラフィ [8] 池野成』短篇映画研究会 SHORTFILM RESEARCHERS (2017年2月28日アクセス) <http://d.hatena.ne.jp/tancho/01020108>



2004年 自宅にて 撮影：出口寛泰

東京音楽大学付属図書館

池野 成 自筆譜コレクション

2017年3月31日 発行

編集・発行：東京音楽大学付属図書館

<http://tokyo-ondai-lib.jp/collection/ikeno/>

協力：池野礁、甲田潤、奥平一、出口寛泰

